

2026～2027年度久留米北ロータリークラブ運営方針 会長 渡辺省三

～ 持続可能なインパクトを生み出そう～



皆様、改めまして、こんにちは。2026～27年度に当久留米北ロータリークラブで会長を仰せつかりました渡辺省三です。これから1年間、皆様と一緒に、楽しく活動してゆきたいと思っております。まずは、よろしくお願いいたします。

さて、今年度 RI 会長オラインカ様のメッセージは、「持続可能なインパクトを生み出そう」。具体的には、「実施したその時だけの結果に満足するのではなく、地域の中で根付き、継続して次の世代につながってゆこう」です。

この「継続してゆく」、ということは、ロータリーの研修でも、何度も聞きました。今までのロータリークラブは毎年会長が変わり、そのたびに運営方針が変わっていった。これでは長期的な展望が持てないではないか、という反省です。

もっともな話です。そこで、昨今では「戦略計画」ということが、認識されるようになりました。こういって堅苦しいので、わかりやすく翻訳しましょう。前会長、現会長、次期会長がよく連携を取り合って、運営方針に連続性を持たせよう、ということです。

リレーのように、前稲益会長から受け取ったバトンを、次期中村会長へと渡す。それが、私の役割といえます。そういう中で今年度の活動を考えると、奇をてらわず、前年度継承を中心といたします。

単年度計画

1. 会員増強 年度目標 会員純増5名、退会0名
2. 国際奉仕 台湾花蓮港 RC へは採択された補助金を活用した医療支援を行う。
3. 青少年奉仕 久留米信愛高等学校に創立したインターアクトクラブへの支援
4. 継続事業 従来の各事業を維持する
5. 特徴あるクラブ事業の継続
 - 1) 健康管理委員会:エコー検診の奨励
 - 2) 食育委員会:地元の農産物を知って地産地消に貢献する
 - 3) スポーツ親善委員会:スポーツを通じて地域社会の発展に貢献する

6.例会の充実と出席率の向上

とくに例会は、ロータリー活動のかなめです。今までと同様の活動をするとしても、できる限り楽しんでいただきたい。なんとか、楽しい例会になり、皆様が例会を楽しみになるように努力する所存です。

～ 幹事就任あいさつ～

2026～2027年度 幹事 小池敏彦



2026～2027年度 久留米北ロータリークラブの幹事を務めさせていただきます小池敏彦です。渡辺会長の運営方針を最大限に活かせるよう努力し、会員の皆様を楽しめるクラブ運営に全力で取り組んで参ります。一年間、宜しくお願いします。